

アンケート調査結果の速報について

(1) 調査の概要

■調査の趣旨

大山崎町人口ビジョン及び大山崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に必要な基本的な基礎資料を収集することを目的に、3種類のアンケート調査を実施した。

■調査の方法

調査の種類	調査の対象	調査方法	調査期間
①転入者調査 (大山崎町へ転入された方へのアンケート調査)	過去3年以内に町内に転入された町内在住 18歳以上の男女 500名 (住民基本台帳から無作為抽出)	郵送による調査票の配布・回収	令和元年12月17日 (調査票配布) ～令和2年1月4日 (回収期限)
②転出者調査 (大山崎町から転出された方へのアンケート調査)	過去3年以内に町内から転出された町外在住 18歳以上の男女 500名 (住民転出届から無作為抽出)	郵送による調査票の配布・回収	令和元年12月17日 ～令和2年1月4日
③住民意識調査	大山崎町在住の住民から 1500名 (住民基本台帳から無作為抽出)	郵送による調査票の配布・回収	令和元年12月17日 ～令和2年1月4日

■回収結果

調査の種類	配布数	回収数	うち無効票	有効回収数	有効回収率
①転入者調査	500件	123件	0件	123件	24.6%
②転出者調査	500件	109件	0件	109件	21.8%
③住民意識調査	1500件	593件	0件	593件	39.5%

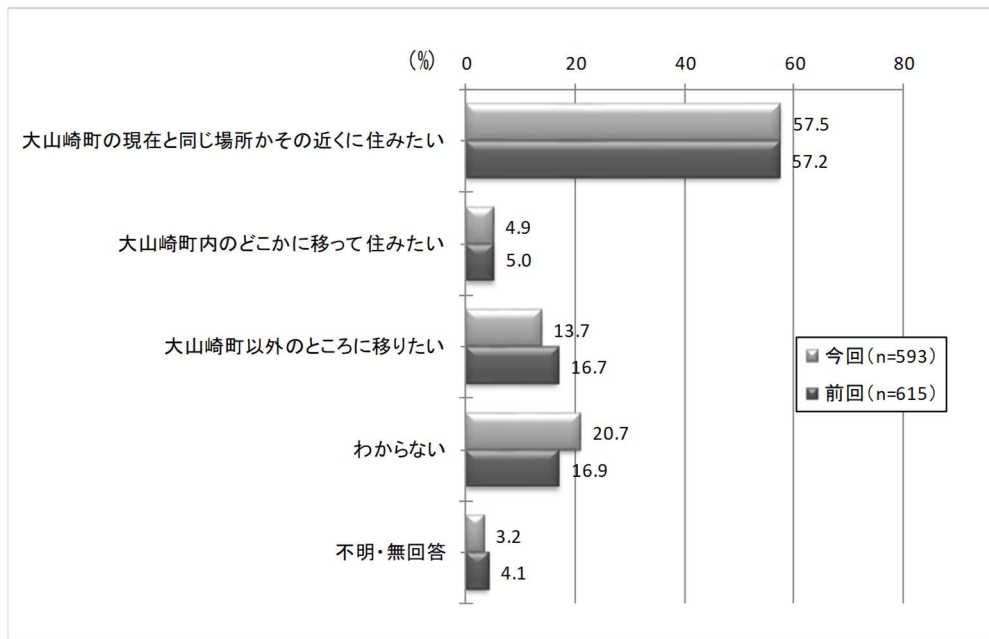
(2) 調査結果の概要—その1 (①転入者調査、②転出者調査、③住民意識調査)

①本町への定住・移住意向 (住民・転入者)

住民意識調査では、前回の調査と大きな変化は見られず、「大山崎町の現在と同じかその近くに住みたい」が最も多く、割合もほぼ横ばいとなっている。

「大山崎町以外のところに移りたい」とする回答は前回より少なくなっているものの、「わからない」が20.7%でやや前回より多くなっている。

大山崎町に住み続けたいか 【住民】



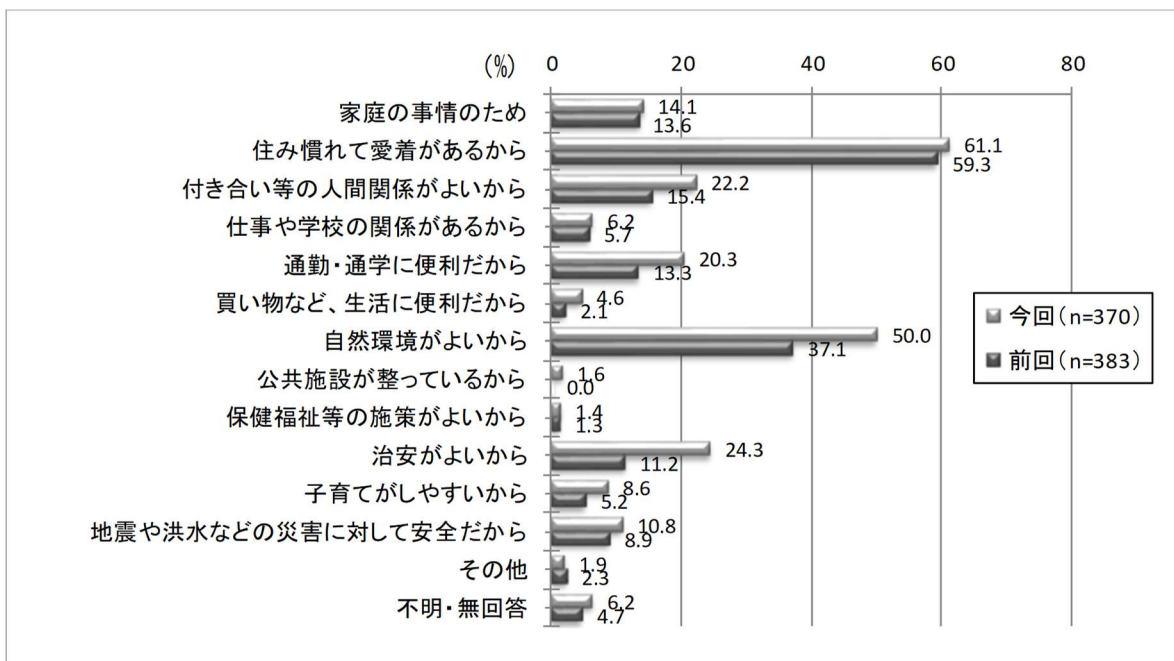
前回の調査では、年齢別の18歳～29歳については、「大山崎町の現在と同じ場所かその近くに住みたい」が最も多い結果となったが、今回の調査では、「わからない」とする回答が最も多くなっている。

大山崎町に住み続けたいか 【住民・年齢別】

	合計	問5 大山崎町に住み続けたいか					
		大山崎町の現在と同じ場所かその近くに住みたい	大山崎町内のどこかに移って住みたい	大山崎町以外のところに移りたい	わからない	不明・無回答	
全体	593	341	29	81	123	19	
	100.0	57.5	4.9	13.7	20.7	3.2	
問14 年齢	18歳～29歳	39	13	3	9	14	0
	100.0	33.3	7.7	23.1	35.9	0.0	
	30歳代	79	44	3	12	20	0
	100.0	55.7	3.8	15.2	25.3	0.0	
	40歳代	94	57	3	15	17	2
	100.0	60.6	3.2	16.0	18.1	2.1	
	50歳代	73	46	2	6	18	1
	100.0	63.0	2.7	8.2	24.7	1.4	
	60～64歳	36	24	2	7	2	1
	100.0	66.7	5.6	19.4	5.6	2.8	
	65～69歳	56	33	5	5	13	0
	100.0	58.9	8.9	8.9	23.2	0.0	
	70～74歳	58	34	2	10	9	3
	100.0	58.6	3.4	17.2	15.5	5.2	
	75歳以上	145	82	8	17	27	11
	100.0	56.6	5.5	11.7	18.6	7.6	

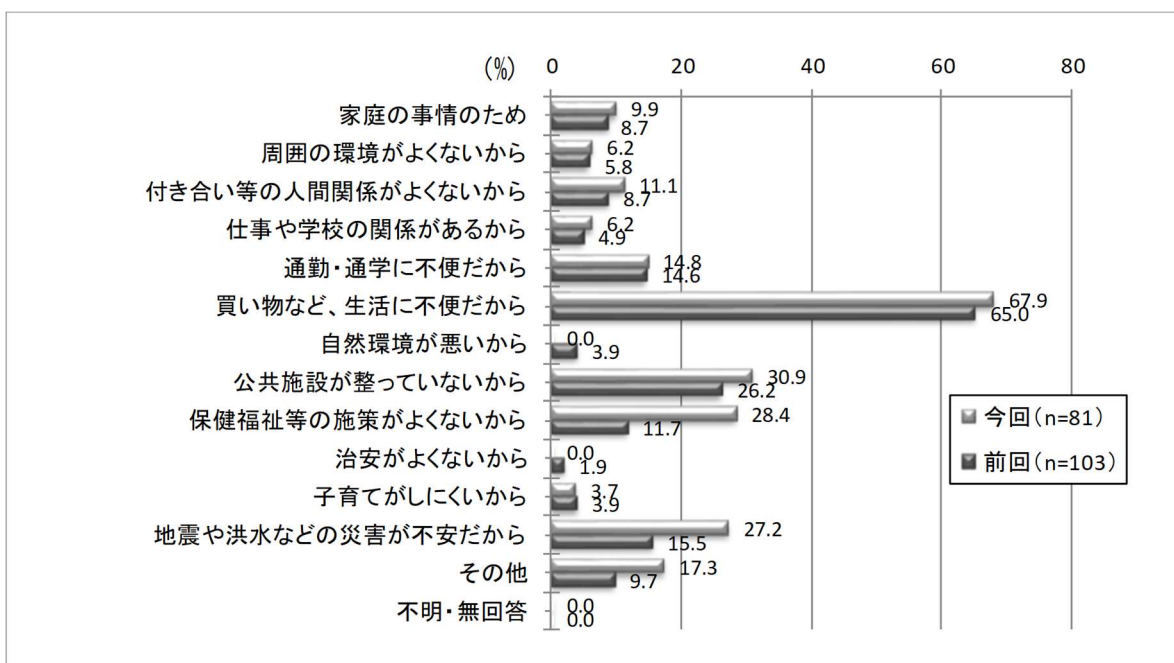
大山崎町に住みたい理由については、「住み慣れて愛着があるから」が61.1%で最も多くなっており、前回の調査結果とほぼ横ばいとなっている一方、今回2番目に回答の多かった「自然環境がよいから」については、今回の調査結果が50.0%で前回より12.9ポイント増加している。

住みたい理由 【住民】



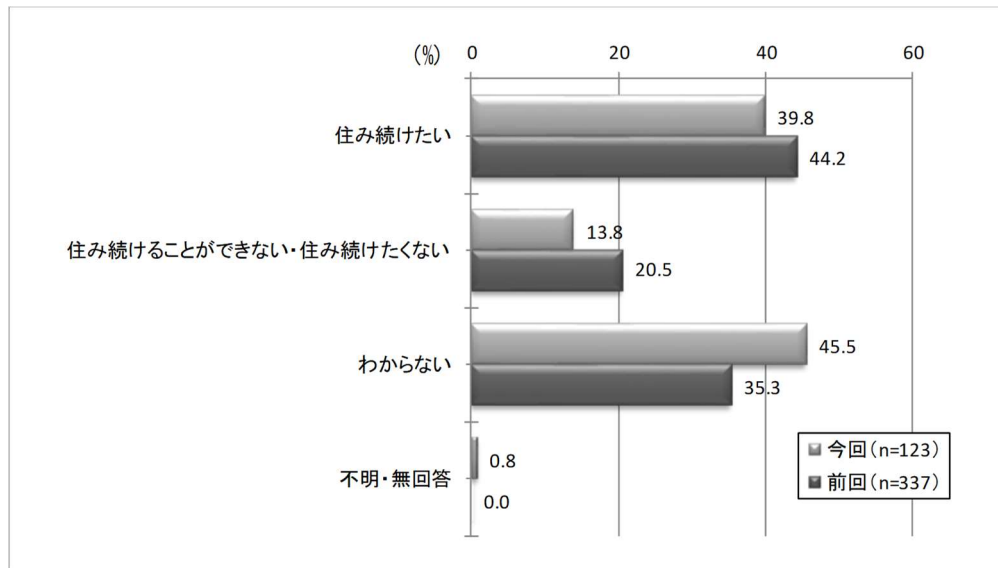
町外に移りたい理由については、「買い物など、生活に不便だから」が67.9%で、前回に引き続き最も多い。また、「保健福祉等の施策がよくないから」、「地震や洪水などの災害が不安だから」が前回より大きく増加している。

町外へ移りたい理由 【住民】



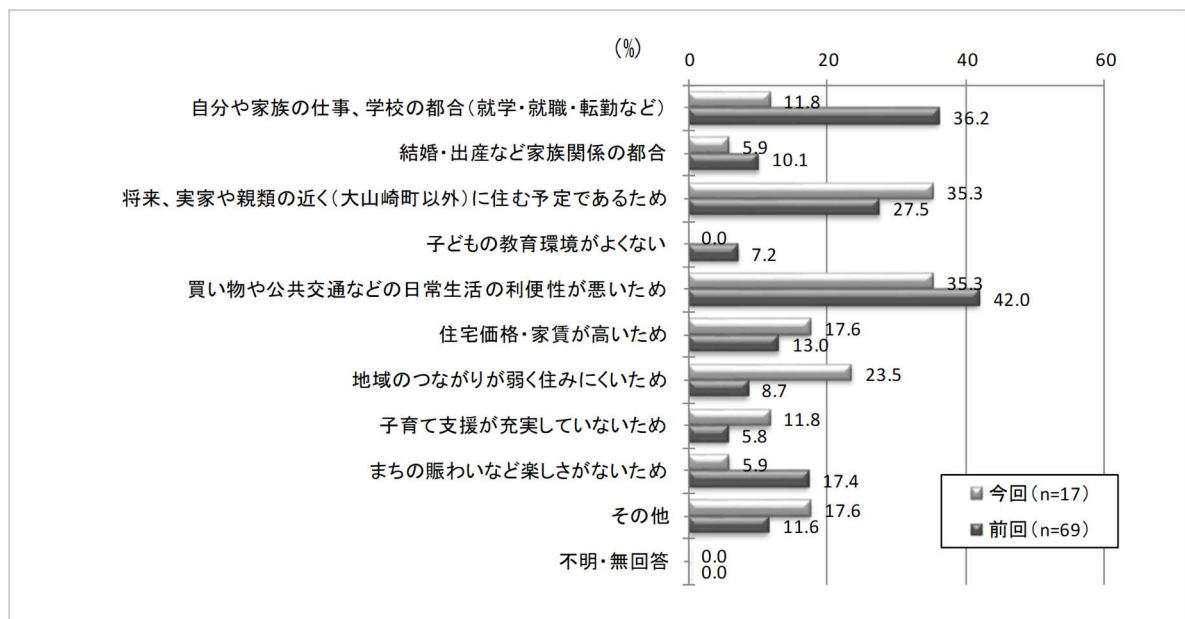
転入者調査では「住みたい」、「住み続けることができない・住み続けたくない」がともに前回は下回っているものの、「わからない」が45.5%で前回より10.2ポイント増加している。

大山崎町に住みたいか 【転入者】



大山崎町に住み続けたくない理由について、「将来、実家や親類の近く（大山崎町以外）に住む予定であるため」、「買い物や公共交通などの日常生活の利便性が高いため」がともに35.3%で最も多くなっている。また、「地域のつながりが弱く住みにくいため」が前回と比較して2倍以上に増加している。

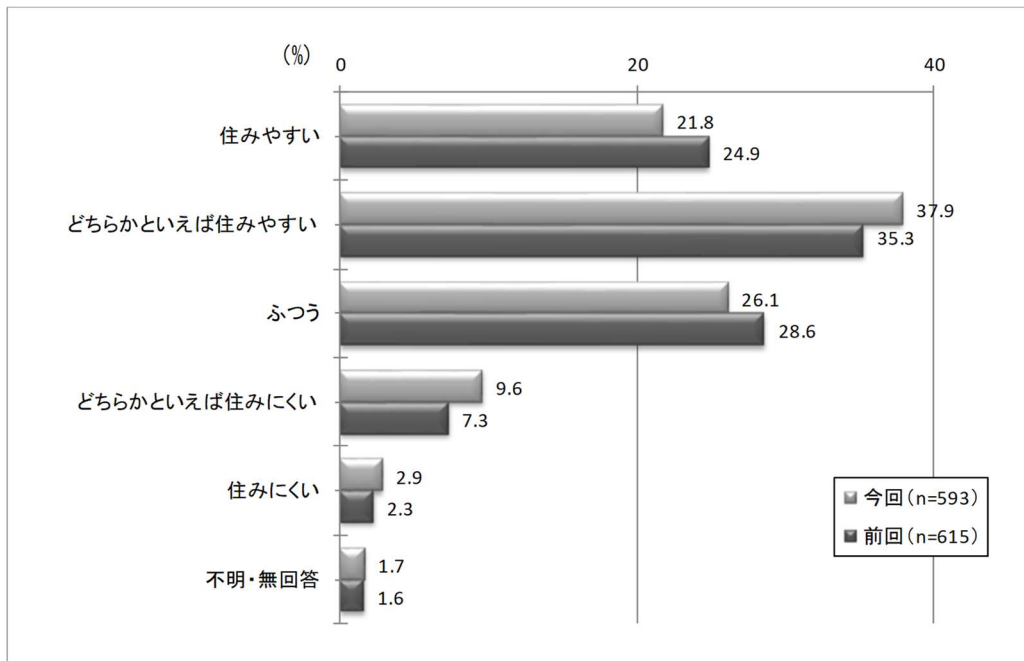
大山崎町に住み続けたくない理由 【転入者】



②本町の住みやすさ（転入者・転出者・住民）

住みやすいと感じている人（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）が59.7%で、住みにくと感じている人（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）の12.5%を大きく上回っている。前回と比較すると、住みにくと感じている人がやや増加傾向である。

大山崎町の住みやすさ 【住民】



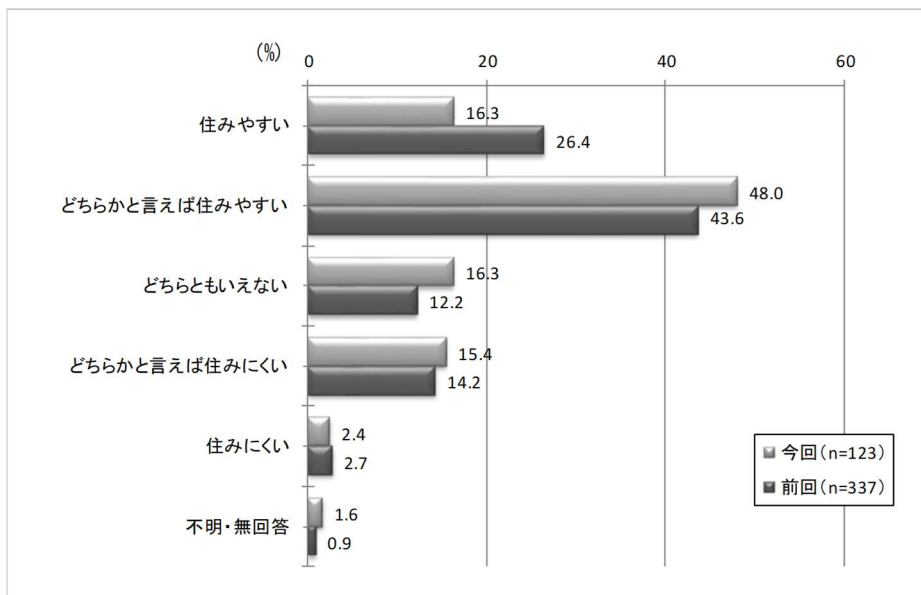
居住地別にみると、字円明寺では住みやすいと感じている人が63.4%で他の地域と比較して高い。一方で、字下植野では「ふつう」が最も多く、36.5%となっている。

大山崎町の住みやすさ 【住民・居住地別】

	合計	問1 大山崎町の住みやすさ						
		住みよい	どちらか といえば 住みよい	ふつう	どちらか といえば 住みにく い	住みにく い	不明・無 回答	
全体	593	129	225	155	57	17	10	
	100.0	21.8	37.9	26.1	9.6	2.9	1.7	
問19 地区	字大山崎	222	48	79	59	26	6	4
		100.0	21.6	35.6	26.6	11.7	2.7	1.8
	字円明寺	303	63	129	71	25	9	6
		100.0	20.8	42.6	23.4	8.3	3.0	2.0
字下植野	52	15	12	19	6	0	0	
	100.0	28.8	23.1	36.5	11.5	0.0	0.0	

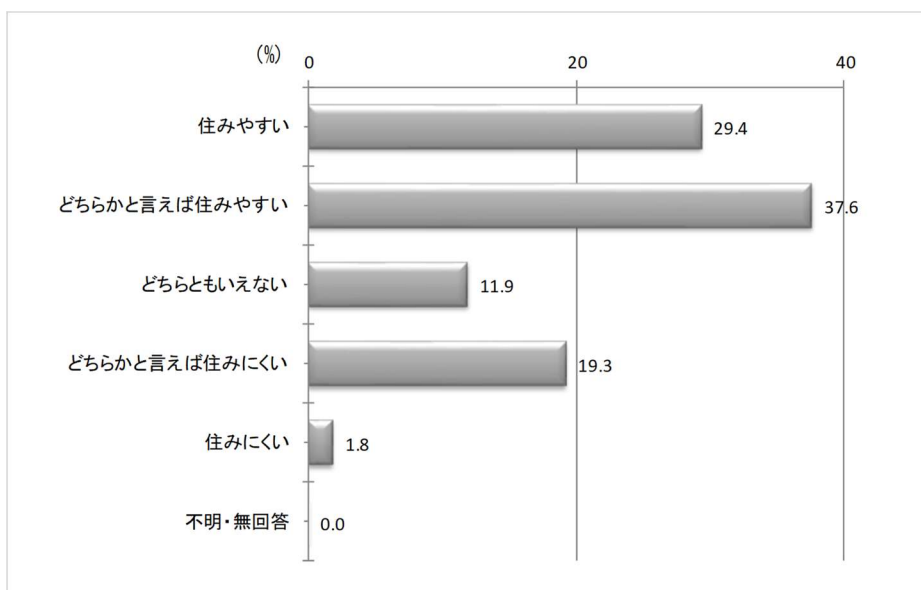
転入者では、住みやすいと感じている人（「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計）の合計が64.3%で、住みにくと感じている人を上回っているが、前回と比較すると、「住みやすい」で10.1ポイント減少している。

大山崎町の住みやすさ 【転入者】



転出者では、住みやすいと感じている（「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計）の合計が67.0%で、住みにくと感じている住民を上回っているが、転入者調査と比較すると、「どちらかと言えば住みにくい」が比較的高く、2割弱となっている。

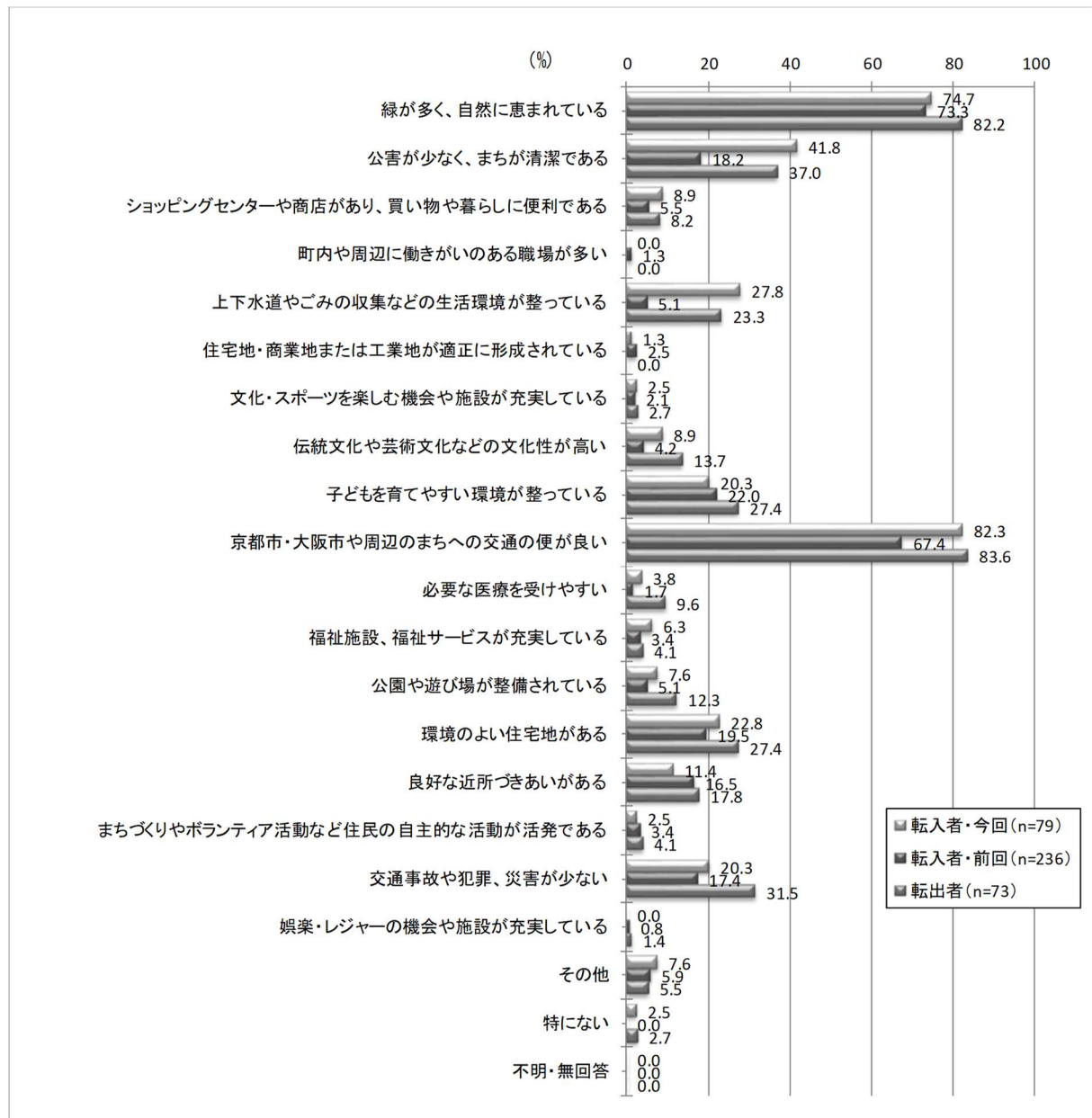
大山崎町の住みやすさ 【転出者】



転入者が住みやすいと感じている理由については、「京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便がよい」が82.3%で前回より10ポイント以上増加し最も多い結果だった。また、「公害が少なく、まちが清潔である」、「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」などの項目で回答が大きく増えている。

一方、転出者が住みやすいと感じている理由についても、今回の転入者調査と同様の傾向がみられ、上位2項目は同じとなっており、また「交通事故や犯罪、災害が少ない」が比較的高くなっている。

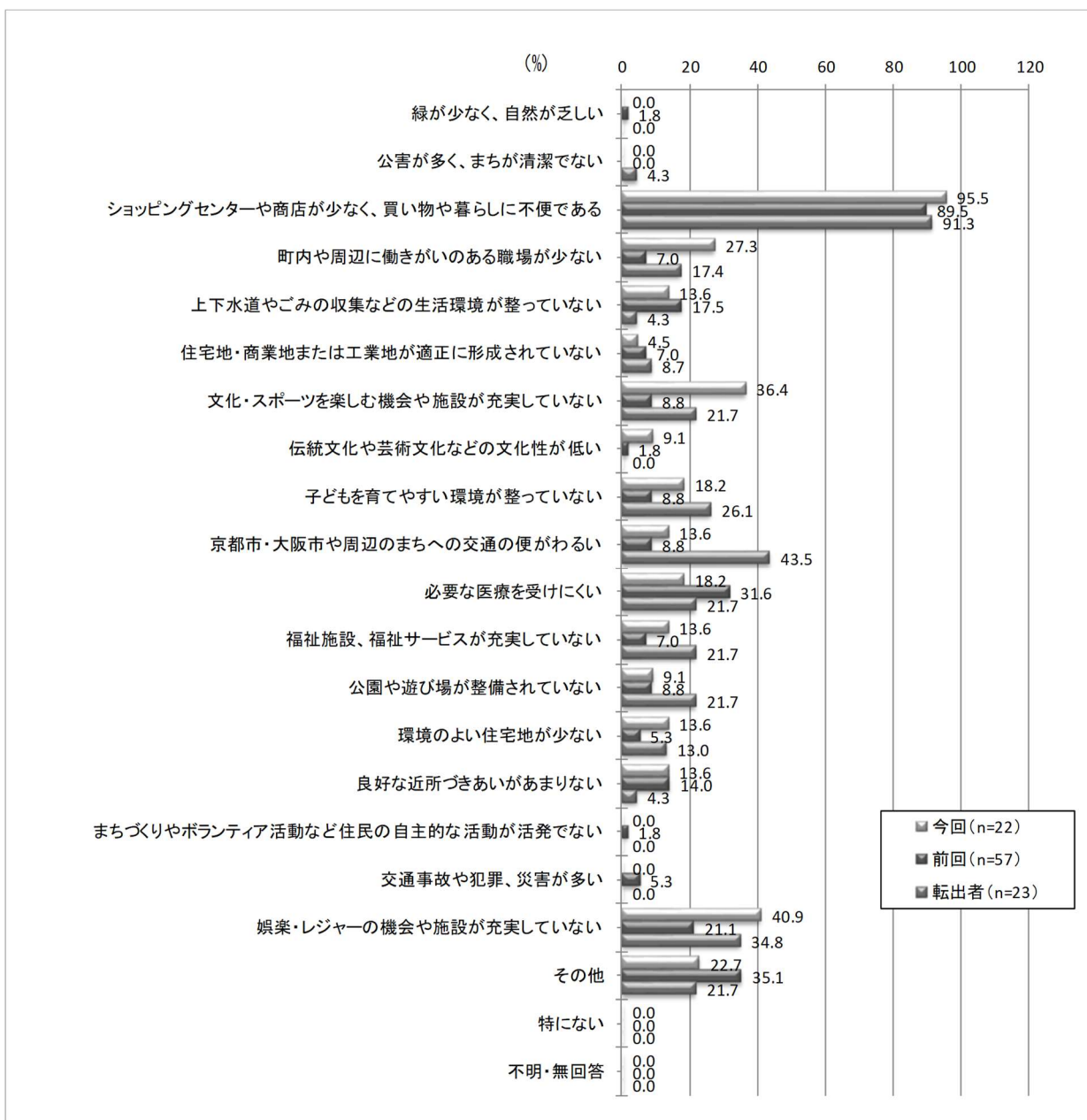
住みやすいと感じる理由 【転入者・転出者】



転入者が住みにくいと感じているについては、「ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である」が95.5%で前回よりやや増加し最も多い結果だった。また、「文化・スポーツを楽しむ機会や施設が充実していない」、「娯楽・レジャーの機会や施設が充実していない」などの項目で回答が大きく増えている一方、「必要な医療を受けにくい」では回答が減少している。

転出者が住みにくいと感じている理由については、転入者調査と同様「ショッピングセンターや商店が少なく、買い物や暮らしに不便である」が最も多く91.3%となっているが、「京都市・大阪市や周辺のまちへの交通の便が悪い」、「公園や遊び場が整備されていない」で転入者調査と比較して回答が多い。

住みにくいと感じた理由 【転入者・転出者】

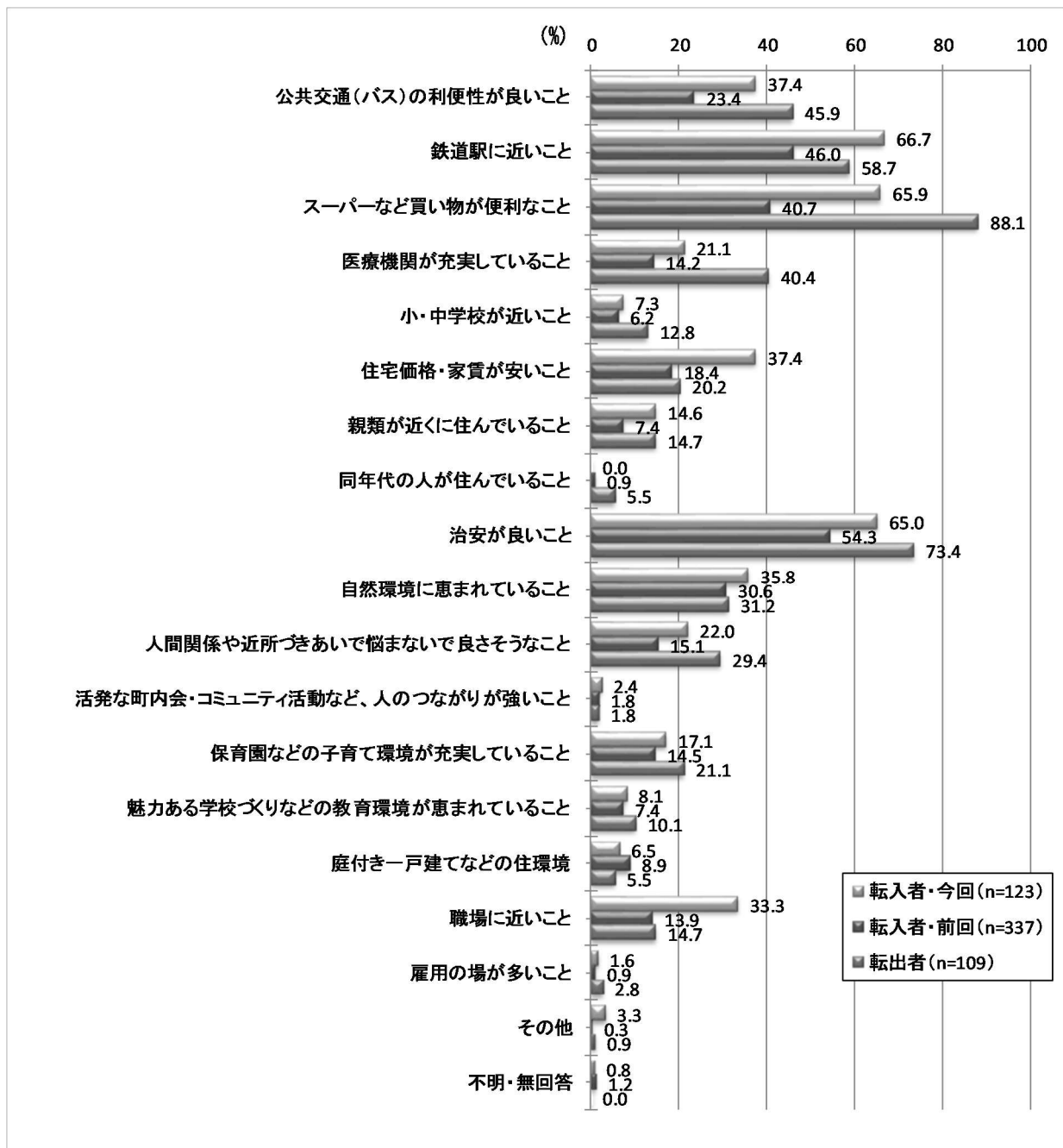


③住む場所を選ぶときのポイント（転入者・転出者）

転入者では、「鉄道駅に近いこと」（66.7%）や「スーパーなど買い物が便利なこと」（65.9%）、「治安が良いこと」（65.0%）などの回答が多く、また前回よりも割合が高い結果であった。

一方、転出者では、回答の多い項目は転入者と類似しているが、「スーパーなど買い物が便利なこと」が特に多く、88.1%であった。その他、「医療機関が充実していること」も転入者と比較して重視している人が多く、4割となっている。

住む場所を選ぶときどのような事を重視するか 【転入者・転出者】



転入先を大山崎町に決めた理由としては、「家賃・住宅価格」が54.1%で最も多くなっており、前回調査と比較しても10ポイント以上増加している。一方で、「街並み」(7.1%)、「公園・自然」(22.4%)、「子育て環境」(5.9%)では、前回より大きく減少している。

転入するにあたって大山崎町に決めた理由 【転入者】

